

しっちゃん？発達障害

◇◆◇お子さんのことで「気になること」はありませんか◇◆◇

「他の子と行動がちよっと違う？」「同じように遊べない」等、周りの子どもたちとの違いに不安を感じたり、「子育てがうまくいかない」「一生懸命勉強してもわからず、つらそう」と、悩んだりしたことはありませんか？

視線が合わない 落ち着きがない ことばの遅れ コミュニケーションがとりにくい
 他の子に関心がなく一緒に遊べない 癩癩^{かんしゃく}がひどく長時間おさまらない
 接触を極端に嫌がる こだわりが強い 繰り返し学習しても読み書きが苦手 など

もしかしたら発達障害かもしれません。

発達障害と言う障害がまだよく知られていなかった頃、「変わった子」「困った子」と言われ、親のしつけや育て方のせいと思われ、本人や家族が辛い思いをすることも少なくありませんでした。

しかし、人の理解を得にくいその特性が先天的な障害によるものとわかった現在では、早い時期から周囲がその特性を理解し、適切な対応と支援を行うことで困り感が軽減され、社会で生活しやすくなることも分かってきました。



気になることがある方は、まずは、かかりつけの小児科(病院)に相談してみましょう。

医療機関以外の相談機関 (★パーソナル手帳配布機関)

※ 予約が必要な機関もありますので、事前に連絡してご相談ください。

関係機関等	電話番号 F A X	所在地
★ 宇部市障害福祉課 (障害者基幹相談センター)	0836-34-8522 0836-22-6052	宇部市常盤町一丁目7番1号 (宇部市役所1階)
★ 宇部市子ども支援課 (宇部市子育て世代包括支援センターUbeハピ)	0836-31-1732 0836-21-6020	宇部市琴芝町二丁目4番25号 (宇部市多世代ふれあいセンター1階)
★ 宇部市教育委員会 教育支援課 特別支援教育推進係	0836-34-8625 0836-22-6071	宇部市常盤町一丁目7番1号 (宇部市役所4階)
★ 宇部市発達障害等相談センターそらいろ	0836-43-6777 0836-43-7174	宇部市琴芝町二丁目4番25号 (宇部市多世代ふれあいセンター5階)
山口県発達障害者支援センターまっぷ	083-902-2680 083-902-2682	山口市吉敷下東四丁目17番1号

◇◆◇ パーソナル手帳 ぜひご利用ください！！ (A4サイズ・無料) ◇◆◇

※宇部市のウェブサイトからもダウンロードできます。



発達などについて気になっている方、発達障害児(者)の方の乳幼児期から成人期までの情報を1冊にまとめておくことで、転居や就学・進学、就職など環境が変化する際、当事者(保護者)と支援者、また支援機関同士での情報共有に役立ちます。(上記表の★印が付いている関係機関で配布しています。)



発行：宇部市発達障害児を支えるネットワーク協議会
 お問い合わせ：宇部市役所 障害福祉課 TEL：0836-34-8522

◇◆◇ 関わり方に悩んだら、こんなふうにしてみましょう ◇◆◇

まずは、どんな個性を持った子どもなのかを理解することが大切です。

障害のあるなしにかかわらず、子どもと向き合う上で大切なのは、その子の個性や特性を理解し、生涯、豊かな人生を送れるように支援していくことです。

よりよい成長を促す関わり方のポイント



1. すぐにしからない。プロセスをほめる。

「だめじゃない！」と頭ごなしにしかると、子どもは何が悪いのかわからないまま、やる気と自信をなくしてしまいます。

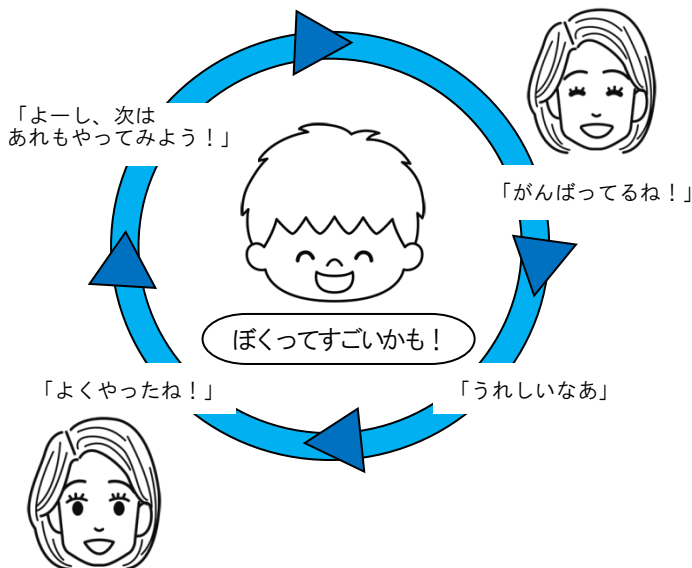
おだやかな声で、どういうところがよくなかったのか、どういう行動をとってほしいのかをわかりやすく伝えましょう。望ましい行動をとってくれた時に、ほめることも忘れずに！

子どもが頑張っていることを積極的に見つけ、「がんばったね」と声をかけることで子どもは自信を持ちます。できたことだけでなく、できなかったこともプロセスをほめましょう。「失敗してもいいんだよ。がんばったものね」と共感の言葉をかけ、努力したことを認めてほめてあげましょう。

2. ルール・スケジュールは具体的に伝える。

ルールやスケジュールが理解しにくい子どもには、絵カードなどを使って視覚的に示すと効果的です。簡潔に根気よく伝えるようにしましょう。

行動の好循環



発達障害のある子どもは、大人にとって望ましくない行動をとることが多いため、叱られてしまうことがよくあります。しかし、この子たちは、周囲が「困る」行動を「わざと」しているわけではありません。何が悪いのかわからず、あるいはいついつかやっちゃっていることが多いのです。

まずはこのことをよく理解し、できなくても努力したことを認めてほめ、欠点や短所も含め、その子のありのままの姿を受け入れましょう。

そして子どもが自分を大切な存在だと思える気持ちを育むことが大切です。

がんばりをほめると、子どもは自分を肯定的にとらえられるようになり、**好ましい行動の循環**が起きます。

そうすると苦手なことにも自信を持って取り組むようになります。

ペアレント・トレーニングとは？

「子どもの行動の特徴を理解し、困った行動を減らして適切な行動を増やす関わりを実践できるようになることを目標としたトレーニングプログラムです。

宇部市でもペアレント・トレーニング講座を開催している機関があります。ご興味がある方は問い合わせしてみてください。

問い合わせ先：宇部市発達障害等相談センターそらいろ TEL:0836-43-6777

対象：じっとしているのが苦手、何度言っても同じことを繰り返す等の特性がある学齢期の子ども保護者で、関わり方を学びたい方。